



議会だより

第57号

〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜100

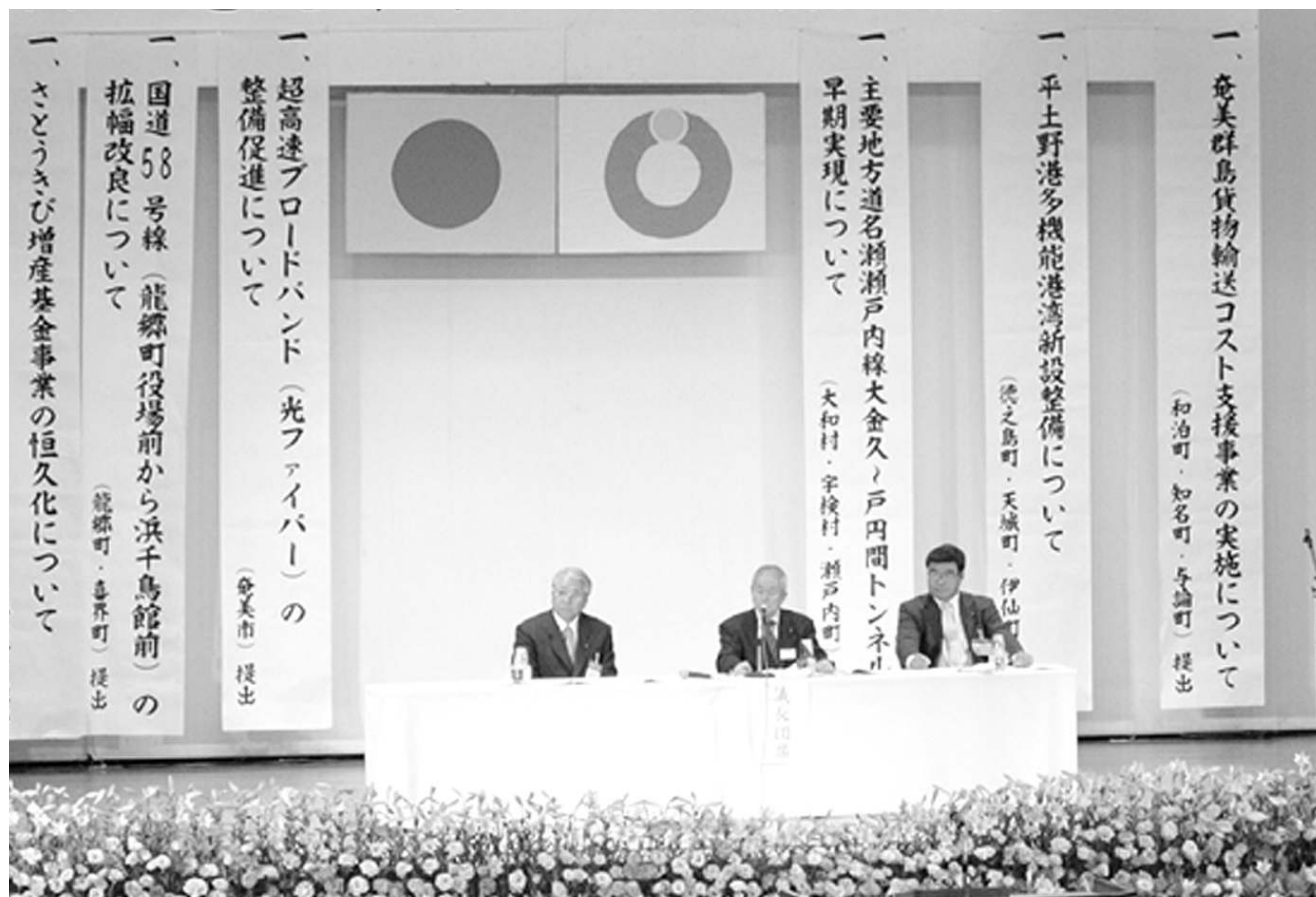
平成27年12月発行

編集：議会広報委員会

発行：大和村議会

☎ 0997-57-2216(直)

FAX 0997-57-2967



第58回 奄美群島市町村議会議員大会（会場；和泊町体育館）

主 要 内 容

第2回定例会 一般質問（5人）	2～6
自治功労者表彰	6
第2回定例会	7
議会の動き・編集後記	8

第2回 定例会 一般質問(5人)

平成27年第2回定例会（6月）において、5名の議員が一般質問を行い、指定管理制度、地方創生、子育て支援、観光振興などについての行政施策をたしました。なお、質問及び答弁要旨については次のとおりです。

（6月19日 本会議）

空き家等対策の 推進について

適切な管理が行われていない空き家等の防災、衛生、景観等が地域住民の生活環境に影響を及ぼしているが本村の空き家条例を定めるべきではないか。

（答弁） 実態調査を行い、利用可能な空き家を活用したい。地域住民の生活に影響を与える廃屋や管理のなされていない空き



奥田 忠 廣 議員

屋については、再度調査を行い、解体撤去に関する助成等を検討し、集落周辺の環境対策に努めたい。条例制度については、法律の基本方針に沿って検討したい。

周辺の生活環境の保全を図るために放置するのが不適切と言われる特定空き家の所有者、責任者の確認を早急に行うべきではないか。

（答弁） 3年前の調査の

結果が55軒で、法律に基づき55軒の廃屋だけでなくその他の空き家についても、所有権を含め今年度中に調査を進めながら対策を講じて行く。

生活困窮者 支援制度について

生活困窮者支援制度の窓口が都道府県市町村となっているが、村民への制度説明はどのようになっているか。

（答弁） 本村においての生活困窮者自立相談事業の実施は、大和村社会福祉協議会と龍郷町社会福祉協議会が共同体として、鹿児島県から事業委託を受けているので、社会福祉協議会と連携しながら、広報紙等を通じて制度周知を図っていききたい。

本村の情報発信と トップセールスに ついて

本村人口減少における人的交流のトップセールスが必要ではないか。人的交流は地方創生総合戦略の中には組み込まれていないのか。

（答弁） 本村の持つ強み、魅力を再確認し、本村へ人を呼び込むために、必要な施策は何なのか明らかにし総合戦略の中で取り組んでいきたい。

夏休みを利用して子供達に大和村を体験してもらい、それを継続していくことで、大和村のファンが増え将来的にも交流人口の増大が図れるのではないか。

(答弁) まずは行政の方に来ていただいて奄美の良さ、大和村の良さを理

解してもらい、将来の子供達の交流へのしかけ作りから始めて行く。



梅 畑 茂 和 議員

選管事務所について

方法で所有者には指導し、命令、代執行までには至らない形で進めて行きたい。

選管事務所が築後20年ぐらい経ち、トイレが無く高齢者や、障害者の皆さんに不自由をきたしているが、当局はどのように考えているのか。

(答弁) 現在のところ、

新たに選管事務所を造る計画はないが、建物の老朽化と既存施設の活用観点から考えると、選挙期間中に限り、新設防災センターの1階会議室の利用が最適ではないかと考えている。

空き家対策について

村内の空き家と認められる家屋は把握されているのか。村は今後空き家対策をどのように進めるのか。

(答弁) 改良により利用可能な空き家が127軒、廃屋については55軒、合

計182棟、村全体の空き家率17・9%と国の平均より大分高い状況にある。特定空き家に指定されたものについて、市町村が指導、助言、勧告、強制代執行という流れになると思うが、助言、指導の段階で何とか解決する

村道大棚名音線の未舗装道路について

以前より指摘のある未舗装箇所については農業委員会からも要望書が提出されているが解決できないか。

(答弁) 地籍調査を行っ

てみても筆界未定の場所等あり、本人の了解無しに強制的に実行できない状況にある。粘り強く交渉し解決を目指す。



民 文 忠 議員

大金久防災センターについて

工事の遅れの要因は何か。

(答弁) 工事の発注が建設場所の選定に期間を要し9月の発注になったが、標準工期については確保し発注している。請負業者からは、発注時期が遅いことと本体、外構、給排水と分割して発注したため、外構工事の遅れにより本体への着手が遅れ、年末年始、年度末の繁忙

期と重なり、下請け業者の手配が出来なかった事が原因だと聞いている。

補助金への影響はないのか。返納の場合の責任はどこが取るのか。

(答弁) 3月末までに完成しない見込みが強くなった時点で県に相談し、県の指導のもとで3月31日の出来高精算の形をとったため、補助金の返納はないが、4月以降の分については、村単独工事となったために補助金は減額となった。



小学校高学年または、中学生との教育交流事業について

多感な時代に、外との交流を通じて自分達の村を見直すことを学び、大学の雰囲気を経験することで向学心の向上につなげていくために、大学との交流事業を実施してはどうか。

(答弁) 本村の、「郷土に愛着と誇りを持って独り立ちしよう」という教



勝山浩平 議員

育方針のもとで、まずは現在取り組んでいる学校教育、社会教育を充実させ、さらに深めて行くことが重要と考えている。その上で質問にある交流について、クリアしなければならぬ問題点について検討の時間を頂きたい。



自然環境を復元するための公共事業の推進について

ふるさとを愛し守っていくために、また、観光振興を図っていく上で一度改変した自然環境や景観を自然工法で再自然化を図るための公共事業を推進していくべきでないか。

(答弁) 自然環境を復元することは大変重要なことと認識している。奄美市の役勝川改修事業でリュウキュウアユの産卵場となる早瀬の保全・創出等の事例があるように、今後も自然環境の復元や景観に配慮した公共事業の推進に努める。

大和村でも、目的の役割を果たしていない消波ブロック等を除去し、砂浜を再生させるような事業の導入は図れないか。

(答弁) 調査し、可能であれば対策を講じる。

福祉産業からの雇用の創出について

福祉産業の誘致は雇用の拡大を図る上で即効性と安定性が高いが首都圏の高齢者を対象とした、ふるさと特養施設整備に取り組んではどうか。

(答弁) 現在の特養施設の現状を考慮すると特養施設整備等を行う場合は村民の介護保険料の大幅な増加が見込まれるため慎重に検討する。

以前と違い、今は、国が都市部から地方への高齢者の移住を推進しており、地方創生の柱の一つにもなっている。地方側に負担がかからないような制度変更も検討されている。本村の企業誘致の可能性は、情報通信産業か福祉だと思うが、雇用と人の流れの観点から、総合戦略の中に組み込んでいくべきではないか。

(答弁) 総合的な検討課題としてとらえ、いろいろな形で調査をし、方向性を見出していく。



高齢者の医療費 無料化について

これまでの高齢者の御苦労に報い、今後益々壮健で地域社会の一員として活躍され暮らしていただくために、年寄りに優しい福祉施策として医療費の無料化は図れないか。

(答弁) 無料がゆえに複数の病院受診や過剰受診などが増加することもあると考えられることから、自己負担は現行のとおりの必要だと考えている。

実際に無料化した自治体の例を見ると、医療費が下がった事例が見られる。当局も再調査の上検討するべきではないか。

(答弁) 無料化が何でもいいとは考えていない。3月に大和診療所の診療体制が変わり、訪問医療・訪問看護が充実してきている。まずは診療所の活性化を図りながら医療費についても検討していきたい。

大和村の福祉まつりで、健康なお年寄りの表彰は、考えられないか。

(答弁) 今年度の福祉まつりから、表彰を考えている。



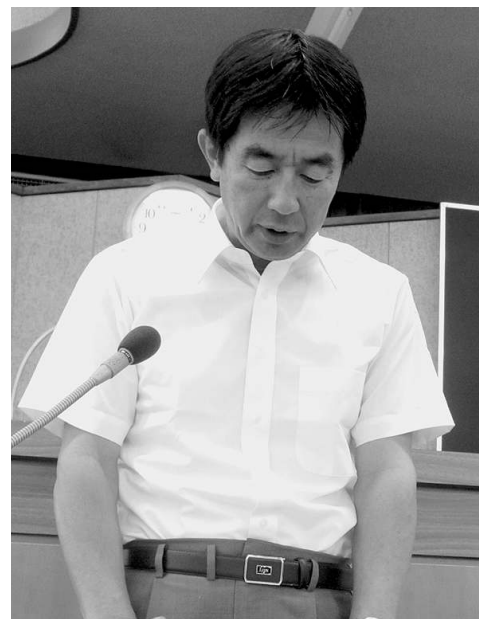
本村の農業生産 基盤の安定・増強 対策について

スモモの数年連続で減収した要因は何か。

(答弁) 農家数の減少、高齢化による農園の規模縮小、老木による生産量の減少が挙げられ近年は、台風や豪雨による被害が大きいと考えている。

アオバトの被害が甚大だと聞くが、調査を進めるべきでないか。

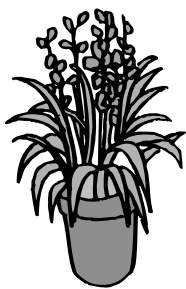
(答弁) 全農家を対象に調査を進める。



議員 正 蔵

生産基盤が安定しなければ、加工や、トップセールスによる販売など、いわゆる6次産業は成立しないが、根本の生産基盤の安定・増強対策について具体的な施策はあるか。

(答弁) 重要な課題と認識しているが、指導体制が整わない中で人材育成や農家指導に苦慮している。そんな中で、タンカンやスモモ農家がどれだけいて、どれだけの面積にどんな樹齢の樹がどれだけあるのか把握し、生産量の確保に努めなければいけないと考えて調査を進めている。



長期振興計画にある生産予定量の数字と、栽培面積に一般的に言われる反収を掛けて算出する数字とに開きがあるが、根本的なデータの再確認が必要ではないか。また、長期計画策定に当たり、農家の年齢構造や後継者の有無等を、5年後10年後のシミュレーションに当然反映させるべきではないか。

(答弁) スモモ及びタンカンの生産者の平均年齢が70歳になっており、より高齢化が進んでいる。昨年からの農家台帳の整理を進めており、その中で基本データはもとより、年齢構成や後継者についても整理していく。

フォレストポリス 近辺の自然保護について

入山規制等も検討していく必要が無いのか。

(答弁) 現在、国・県・市町村で構成する、世界自然遺産登録推進協議会において遺産登録に伴う観光客の増加により自然環境への影響が生ずる事が無いよう、計画的な環境管理の必要性や受入体制の整備について検討している。今後も、交通規制が必要な林道等の抽出、車両等のコントロール方策、運用体制、法的根拠の整理等についてさらに検討していく。

自治功労者表彰

町村議会議長6年以上在職者として宮田到議長が表彰を受けました。

また、町村議会事務局職員5年以上在職者として太純一さんが表彰を受けました。
今後益々のご活躍を祈念いたします。



議会を傍聴しましょう

議会の定例会は年4回(3月、6月、9月、12月)

行われます。 お問い合わせ先 ☎57-2216 (直通)

平成27年第2回(6月)定例会で審議された全議案

議案番号	議案名	議決結果
承認第 1 号	平成26年度大和村一般会計補正予算（第8号）の専決処分の承認について	承認
承認第 2 号	平成26年度大和村簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について	承認
承認第 3 号	平成26年度大和村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について	承認
承認第 4 号	平成26年度大和村大和診療所特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について	承認
承認第 5 号	平成26年度大和村介護保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について	承認
承認第 6 号	平成26年度大和村大和の園特別会計補正予算（第2号）の専決処分の承認について	承認
承認第 7 号	平成26年度大和村後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について	承認
議案第31号	平成27年度大和村一般会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第32号	平成27年度大和村大和診療所特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第33号	大和村防災センターの設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決
議案第34号	大和村報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
承認第 8 号	大和村税賦課徴収条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認
承認第 9 号	大和村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認
承認第10号	大和村介護保険条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認
議案第35号	大和村辺地に係る総合整備計画の変更について	原案可決
議案第36号	平成26年度施行津名久防災会館整備事業（建築工事・電気設備工事）請負契約の締結について	可決
発議第 2 号	大和村議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
発議第 3 号	大和村議会議員政治倫理条例の制定について	原案可決 賛成5 退席2
発議第 4 号	T P P（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書の提出について	原案可決
発議第 5 号	大和村議会改革推進特別委員会の設置について	原案可決 賛成5 退席2

議会の動き

【3月】

10日 第1回大和村議会定例会（予算・条例等）開会
11日 予算審議特別委員会（現地調査）
13日 大和中学校卒業式（各議員）
19日 予算審議特別委員会（一般会計）
20日 予算審議特別委員会（一般・特別会計）
23日 定例会（一般質問・6名）
24日 村内小学校卒業式（各議員）
26日 定例会・最終本会議（当初予算・条例等）閉会

【4月】

1日 第1回町村議会議長会理事会（鹿児島市・議長）
6日 村内小学校・大和中学校入学式（各議員）
9日 奄美群島市町村議会議長会（奄美市・議長）
10日 新着任教職員歓迎会（村体育館・各議員）
16日 災害発生時における村内郵便局との協力に関する協定書調印式（各議員）
28日 県政説明会（鹿児島市・議長）

【5月】

1日 大島本島南部議会議長会役員会（宇検村・正副議長）
13日 県離島振興町村議会議長会臨時総会等（鹿児島市・議長）
14日 議員研修会（鹿児島市・各議員）
21日 第58回奄美群島市町村議会議員大会（和泊町・各議員）
26日 町村議会議長研修会（東京・議長）
27日 特別養護老人ホーム大和の園開園30周年記念式典・祝賀会（各議員）

【6月】

8日 議会運営委員会（議員控室・運営委員）
10日 奄美群島地域産業振興基金協会評議委員会（奄美市・議長）
16日 奄美群島広域事務組合臨時議会（奄美市・議長）
19日 奄美群島航路対策協議会（奄美市・議長）
28日 奄美群島大島紬振興対策協議会（奄美市・議長）
第2回大和村議会議定例会（開会・夜間議会）
定例会（最終本会議・一般質問他・閉会）
名瀬在住大和村連合郷友会総会・懇親会（奄美市）
久根津トンネル開通式・祝賀会（瀬戸内町・議長）



編集後記

村民の皆さん毎日お疲れ様です。

11月も中旬を過ぎ暑い日が続いておりますが、議会だよりが皆さんのお手元に届く頃は、冬の寒さになっていると思います。インフルエンザなどにかからないように、早めの予防に努めて下さい。6月議会から夜間議会にも取り組みました。一人でも多くの村民の皆さんに傍聴に来てもらいたい思いからです。これからも村民の皆さんの目線で活動が続けていきたいと思っています。皆さんからの意見・要望を村当局にお伝えしていきたいと思えます。

広報委員長 民 文忠
広報委員 藏 正

〃 奥田 忠廣
〃 池田 幸一